

平成30年度  
運営に関する計画

大阪市立長吉六反中学校  
平成30年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

この数年、教職員の組織的な指導体制のもと、地域・保護者との連携を深めることにより、規範意識の育成や基本的生活習慣の確立などに努めた結果、おおむね落ち着いた学習環境を維持できている。今後とも学力向上の基盤として、生活指導体制の充実を図る必要がある。

また、厳しい家庭環境の生徒が多く、家庭学習に大きな課題があり、学習意欲が高いとは言えず、自ら意欲的に学習に取り組む姿勢づくりをする必要がある。読書習慣にも課題があり言語力の育成を図る必要がある。そのためにも「主体的・対話的で深い学び」を旨とする授業づくり、ICT 機器の活用、習熟度別指導の充実など授業方法の工夫等に取り組み、授業力の向上に努めていきたい。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査においては、多くの領域で、全国・大阪府平均を下回っている。このため、日ごろから運動に親しむ習慣がつくような取り組みを推進する必要がある。

### 中期目標

#### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○安全で安心できる学校をつくる。

- ・平成32年度末の校内調査において「学校で認知したいじめについて、解消した割合」を95%以上にする。
- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「学校の決まりや規則を守っている」と答えた生徒の割合を、94%以上にする。

○道徳教育、人権教育、キャリア教育を推進し、道徳心・社会性の育成をはかる。

- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答した生徒の割合を80%以上にする。
- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合を70%以上にする。

○地域に開かれた学校づくりを推進する。

平成32年度の保護者アンケートにおいて「学校は、情報発信を積極的に行い、教育内容に対する説明をしている」と回答した割合を平成28年度比10ポイント以上向上させる。

#### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○生徒一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組みを行う。

- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「授業はわかりやすい」と答えた生徒の割合を75%以上にする。
- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して肯定的な回答をする生徒の割合を平成28年度比10ポイント向上させる。

○すべての学力の基盤としての言語力を育成する。

- ・平成32年度の校内生徒アンケートにおいて「本を読むのが好きだ」と答えた生徒の割合を平成28年度比10ポイント向上させる。

○家庭学習の習慣をつけさせる。

- ・平成32年度の全国学力・学習状況調査の結果において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を全国平均以上にする。

○全国体力・運動能力調査の数値を、毎年向上させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 校内調査における、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合90%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

- 道徳教育、人権教育、キャリア教育を推進し、道徳心・社会性の育成をはかる。
  - ・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答した生徒の割合を80%以上にする。
  - ・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合を70%以上にする。
- 地域に開かれた学校づくりを推進する。
  - 平成30年度の保護者アンケートにおいて「学校は、情報発信を積極的に行い、教育内容に対する説明をしている」と回答した割合を前年度より向上させる。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標

- 「中学生チャレンジテスト」における標準化得点(※1)を、前年度より向上させる。
- 「中学生チャレンジテスト」における正答率が市平均（府平均）の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。
- 「中学生チャレンジテスト」における正答率が市平均（府平均）の2割以上上回る生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。
- 校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査を、1・2年生について全種目の調査を3学期にも再度実施し、体力合計点と全種目の結果を1学期より向上させる。

#### 学校園の年度目標

- 生徒一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組みを行う。
  - 平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「授業はわかりやすい」と答えた生徒の割合を75%以上にする。
- すべての学力の基盤としての言語力を育成する。
  - ・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「本を読むのが好きだ」と答えた生徒の割合を前年度より向上させる。
- 家庭学習の習慣をつけさせる。
  - ・平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。

※1 <標準化得点の算出方法>

$$(\text{各校の正答数(率)} - \text{平均正答数(率)}) \div \text{標準偏差} \times 10 + 100$$

### 3 本年度の自己評価結果の総括

## 大阪市立長吉六反中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <p>○年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○校内調査における、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○道徳教育、人権教育、キャリア教育を推進し、道徳心・社会性の育成をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</li> <li>・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがある」と回答した生徒の割合を70%以上にする。</li> </ul> <p>○地域に開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>平成30年度の保護者アンケートにおいて「学校は、情報発信を積極的に行い、教育内容に対する説明をしている」と回答した割合を前年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容 ①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>生徒集会の講話や朝のあいさつ運動、登校指導等を年間を通じて行い、規範意識の育成、基本的生活習慣の確立に努める。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。</p>	
<p>取組内容 ②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>「学校安心ルール」をはじめとする学校の生活指導方針を、学年・学校だよりなどの保護者配布文書やPTA総会・実行委員会、保護者会などを通じ周知・説明する。</p>	
<p>指 標 保護者アンケートにおいて、「先生は、生徒が規律正しい学校生活を送れるように指導している」と回答した保護者の割合を90%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容 ③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>人格形成の基礎を培うため、様々な本物（芸術作品・芸能・音楽）に触れさせ、個性や想像力、自分を表現する力をはぐくみ、生徒の情操を豊かにする。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて「本物に触れることのできる芸術（演劇や古典芸能や音楽）鑑賞に興味がある」と回答した生徒の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容 ④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>修学旅行や一泊移住において体験学習を実施し、自然や他者との触れ合いを通じ、協力しながら目標を達成することにより、自己肯定感の醸成、社会性や共に生きる力の育成を図る。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがある」「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容 ⑤【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>年間指導計画に基づき、道徳教育、人権教育、キャリア教育を推進し、道徳心・社会性を育成する。</p>	
<p>指 標 ・校内生徒アンケートにおいて「命や人権の尊さについて考えたことがある」と回答した生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>・校内生徒アンケートにおいて「自分にはよいところがあると回答した生徒の割合を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容 ⑥【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>学校元気アップ本部と連携し、生徒自らが校内の畑を整備し、草花を育て緑化を進め豊かな情操をはぐくむとともに、美しい学校づくりをめざす。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて「校内に緑や芸術作品が豊富にあり心が豊かになる」と回答した生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p>	
<p>取組内容 ⑦【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>市営交通の一日乗車券を使い大阪市内を班別に行動し大阪の歴史、文化伝統などを学ばせる「大阪探検」や地域行事への積極的な参加により“わが町 大阪”を愛する心を育てる。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて「大阪の歴史・文化・伝統に興味がある」と回答した生徒の割合を年度当初より5ポイント以上向上させる。</p>	
<p>取組内容 ⑧【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <p>学力の状況などの学校情報を保護者や地域住民などに積極的に提供し、説明責任を果たす。</p>	
<p>指 標 保護者アンケートにおいて「学校は、情報発信を積極的に行い、教育内容に対する説明をしている」と回答した割合を前年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
---------------------------

次年度への改善点
----------

## 大阪市立長吉六反中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「中学生チャレンジテスト」における標準化得点(※1)を、前年度より向上させる。</li> <li>○「中学生チャレンジテスト」における正答率が市平均(府平均)の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント減少させる。</li> <li>○「中学生チャレンジテスト」における正答率が市平均(府平均)の2割以上上回る生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3ポイント増加させる。</li> <li>○校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>○全国体力・運動能力、運動習慣調査を、1・2年生について全種目の調査を3学期にも再度実施し、体力合計点と全種目の結果を1学期より向上させる。</li> </ul> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組みを行う。 平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「授業はわかりやすい」と答えた生徒の割合を75%以上にする。</li> <li>○すべての学力の基盤としての言語力を育成する。 ・平成30年度の校内生徒アンケートにおいて「本を読むのが好きだ」と答えた生徒の割合を前年度より向上させる。</li> <li>○家庭学習の習慣をつけさせる。 ・平成30年度の全国学力・学習状況調査の結果において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について肯定的に答える生徒の割合を前年度以上にする。</li> </ul> <p>※1 &lt;標準化得点の算出方法&gt; (各校の正答数(率) - 平均正答数(率)) ÷ 標準偏差 × 10 + 100</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容 ①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 習熟度別少人数指導等個に応じた指導やICTの活用、「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業づくりを推進する。</p>	
<p>指 標 校内生徒アンケートにおいて「授業はわかりやすい」と答えた生徒の割合を75%以上にする。</p>	



<p>&lt;国語科&gt;・読解力、文章表現力の定着を図るために、学習指導の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の理解を深めさせるために、プリント類や補助教材を利用する。</li> <li>・漢字の読み書きは、プリントや補助教材で反復練習し、定着を図るよう努める。</li> </ul> <p>&lt;社会科&gt;・基礎的・基本的な学習内容の定着を図るため、確認学習の工夫に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の興味・関心を高め、学習内容の理解をすすめるため、教材の工夫に努める。</li> </ul> <p>&lt;数学科&gt;・きめ細かい指導を通して、個別の学習を充実させ改善するよう努めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を聞く習慣を身につけさせ、学力向上に努める。</li> </ul> <p>&lt;理 科&gt;・学習意欲を育てる指導方法を工夫し、実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な補助教材を用意し、基礎学力の定着に努める。</li> </ul> <p>&lt;音楽科&gt;・生徒の興味関心を高める授業内容の工夫に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を表現するための基礎的な技術を定着させる。</li> </ul> <p>&lt;美術科&gt;・作品内容を視覚的に理解をし興味関心を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞指導の充実を図り、相互に作品を見る機会を増やす。</li> </ul> <p>&lt;保健体育科&gt;・様々なスポーツ種目を体験させ、運動を実践していく能力や態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動実践における健康・安全に留意する態度を養う。</li> </ul> <p>&lt;技術家庭科&gt;・生徒の興味・関心を高めるような指導法を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生では少人数授業を行うなど、きめ細かな指導に取り組んでいく。</li> </ul> <p>&lt;英語科&gt;・基本単語、基本表現を定着させ、低学力を克服する授業を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(*)C-NETの授業を通して異文化理解を深め、実践的コミュニケーション能力を高める。</li> <li>・(*) C-NET:大阪市外国人英語指導員(Osaka City Native English Teacher)</li> <li>・習熟度別授業、TTなどの授業を実践し、個に応じた学習を充実させる。</li> </ul> <p>&lt;特別支援教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立及び身辺自立への支援を行う。</li> <li>・生徒一人一人に応じた学習の指導に努める。</li> <li>・交流学习を通して共に学びあい、理解を深め仲間意識を育てる。</li> <li>・個に応じた適切な進路指導を行う。</li> </ul> <p>&lt;教員研修&gt; 全教員が研究授業・相互授業参観を行い、授業力向上に取り組む。</p>	
<p>指 標</p> <p>&lt;国語科&gt;・全学年でTT授業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント類や補助教材を用いた授業を全授業の60%以上行う。</li> <li>・課題について定期的に点検・テストを行い、提出率を80%以上にする。</li> </ul> <p>&lt;社会科&gt;・学習内容の復習プリントを、各単元ごとに作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野ごとに学習内容に関連する社会的事項及び出来事を提供する。</li> </ul> <p>&lt;数学科&gt;・定期テストの知識理解を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静かに授業を聞ける生徒の数を増やす。</li> </ul> <p>&lt;理 科&gt;・新しい科学の話題や身近な科学の話題を取り入れ、生徒に提供するとともに視聴覚機材、コンピュータ、電子黒板などを授業内で活用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小単元ごとに学力の定着を図るための小テストを行う。また、その結果をもとにひとりひとり違った課題を出すなどの、ひとりひとりの学力に応じた学習を行う。</li> <li>・学習内容の定着のために効果的に実験観察を行うとともに、課題解決型の実験観察も取り入れる。</li> </ul>	

<p>&lt;音楽科&gt;・すべての単元にパワーポイントを取り入れ、視覚的にも音楽の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、姿勢・発声・表情の充実を図る。</li> </ul> <p>&lt;美術科&gt;・すべての作品において参考作品を準備作成しイメージを高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各作品に取り組む前に資料集の活用をする。多くの完成作品の掲示。</li> </ul> <p>&lt;保健体育科&gt;・年間、8種目以上の競技を経験させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、健康・安全についての情報提供をする。</li> </ul> <p>&lt;技術家庭科&gt;・ワークシートや復習プリントなどを作成し、授業内容の理解に努める。小テストを実施し知識理解をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に参加している生徒の実習作品の完成率 100%を目指す。</li> </ul> <p>&lt;英語科&gt;・自主プリントを年間 50 枚程度作成し、学習内容の深化に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C-NETとの授業に全学年で取り組む。</li> <li>・全学年の習熟度別授業、T Tの授業を合わせて年間 336 時間以上行う。</li> </ul> <p>&lt;特別支援教育&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育委員会を毎月開催し、共通理解と支援方法を具体的に検討する。</li> <li>・支援を必要とする個々の生徒全員に適切な指導や支援を行うため、個別の指導計画を作成する。</li> <li>・個別の指導計画・支援計画を作成、学期ごとに更新し、適切な支援を行うために活用していく。</li> <li>・連絡帳を使い、毎日保護者と連絡を行い、必要な場合は関係諸機関との連携を図る。</li> </ul> <p>&lt;教員研修&gt; 全教員が年 1 回以上の研究授業を行い、研究協議も併せて実施することで授業力向上に努める。また、全教員参加の研究協議を年 1 回以上おこなう。</p>	
<p>取組内容 ②【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 】</p> <p>「学校力UP コラボレーター」と連携しながら「学びサポーター」を積極的に活用することにより、個々の基礎学力の定着と理解力を深め、習熟度レベルの下位層の底上げを図る。</p> <p>指 標 「中学生チャレンジテスト」における正答率が市平均（府平均）の 7 割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。</p>	
<p>取組内容 ③【 施策6 国際社会において生き抜く力の育成 】</p> <p>生徒の発達段階に応じて、英語のコミュニケーション能力の 4 分野である、「聞く」・「話す」・「読む」・「書く」力をバランスよくはぐくむ。</p> <p>指 標 「大阪市英語力調査」において、取り組みの成果を検証する。</p> <p>英検 3 級以上の生徒の割合を昨年度より向上させる。</p>	
<p>取組内容 ④【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 】</p> <p>全校的に取り組んでいる「漢字学習」をより充実させ、漢字力をつける。</p> <p>指 標 定期テストにおいて、漢字に関する問題の正答率を一学期から三学期にかけて向上させる。</p>	

<p>取組内容 ⑤【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 】</p> <p>言語力や論理的思考力の育成をはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気アップ本部と連携し、図書室をより使いやすくし、全曜日かつ週7回以上開館する。</li> <li>・各学級に毎日、新聞を配布し、朝読書の時間や休憩時間を利用して自由に読める環境を整備する。</li> </ul>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内生徒アンケートにおいて「本を読むのが好きだ」と答えた生徒の割合を前年度より高める。</li> <li>・校内生徒アンケートにおいて「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」と答えた生徒の割合を前年度より高める。</li> </ul>	
<p>取組内容 ⑥【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 】</p> <p>学校力UPコラボレーターや学校元気アップ本部事業を活用し、放課後学習・テスト前・長期休業中の学習会を実施と、家庭学習教材を配付し、基礎学力および家庭学習の習慣を身につけさせる。</p>	
<p>指 標</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を前年度以上にする。</p>	
<p>取組内容 ⑦ 【 施策6 国際社会において生き抜く力の育成 】</p> <p>「国際クラブ」や外部人材を活用し、わが国の言語や文化に対する意識の向上を図るとともに多文化共生社会を目指す資質や能力をはぐくむ。</p>	
<p>指 標</p> <p>学校全体で年間を通じて、計画的に実施していく。特に民族講師を活用した活動を行う。</p>	
<p>取組内容 ⑧【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>保健体育の授業において補強運動・柔軟運動の充実を図り、筋力および瞬発力の育成に努める。</p>	
<p>指 標</p> <p>全国体力・運動能力、運動習慣調査を、1・2年生について全種目の調査を3学期にも再度実施し、体力合計点と全種目の結果を1学期より向上させる。</p>	

年度目標の達成状況や取り組みの進捗状況の結果と分析
---------------------------

次年度への改善点
----------